

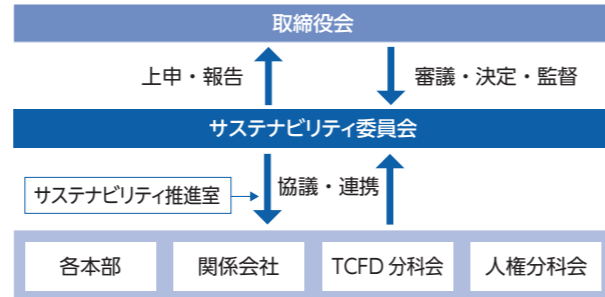
サステナビリティを推進するために

当社グループは、お客様、株主、従業員をはじめとするさまざまなステークホルダーの期待にお応えするため、役員や従業員が遵守すべきキーコーヒー行動規範やサステナビリティ関連方針を守り、企業価値を持続的に高めていきます。

サステナビリティに関する施策を推進するにあたっては、サステナビリティ推進室が事務局を担う「サステナビリティ委員会」を設け、傘下に「人権分科会」「TCFD分科会」といった分科会を設置しています。

サステナビリティ推進体制

サステナビリティ関連方針や重要項目の見直し、重要項目に対する課題(リスク・機会)の整理や戦略立案などはサステナビリティ委員会において協議された後、取締役会に上程され、取締役会が審議・決定。執行部門のサステナビリティに関する取り組み状況は、サステナビリティ委員会が進捗を管理し、年1回取締役会に報告され、取締役会が執行状況の監督を担当します。



(2024年3月末時点)

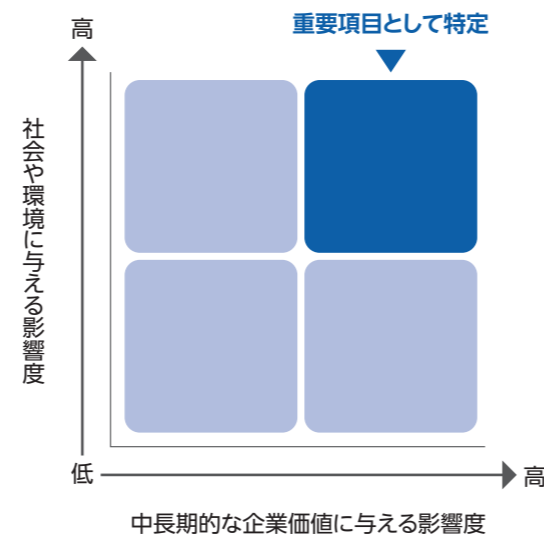
サステナビリティ基本方針

環境	●環境方針
	— 環境に配慮した商品開発の考え方
社会	●品質・食品安全方針
	●人権方針
	●人的資本に対する考え方
	— 人財育成方針・社内環境整備方針
	●責任ある購買・調達方針
	— サプライヤーガイドライン
ガバナンス	●コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方
	— 内部統制システムに関する基本方針

※方針の内容は、環境変化や社会の要請等により適宜見直しを行います。

重要項目(マテリアリティ)の特定プロセス

バリューチェーンを「商品企画」「コーヒー生産国」「原料調達」「生産管理」「販売物流」「コミュニケーション」と定義。それぞれに対するリスクと機会を踏まえて重要項目の候補を抽出しました。それらを『当社が社会や環境に与える影響度』と『中長期的な企業価値に与える影響度』の2軸の観点より検討し、「地球温暖化への対応」「環境負荷の低減」「責任ある調達と商品の開発・提供」「従業員のエンゲージメント向上とダイバーシティの推進」「コーポレート・ガバナンスの強化」を重要項目と定めています。



※重要項目は適宜見直しを実施し、サステナビリティ委員会での協議を踏まえ、取締役会にて決議を行います。

重要項目に対する中期取り組みテーマ

5つの重要項目に対する、中期の取り組みテーマ・指標・目標・実績は以下のとおり(2024年3月末時点)。目標達成に向けて各取り組みを推進し、進捗管理を行います。

中期取り組みテーマ	指標	目標	2023年度実績
地球温暖化への対応			
1. 温暖化に適応した「コーヒー栽培の開発」	—	インドネシアの直営農園を中心に、コーヒーの栽培技術や次世代品種の研究について、WCR (World Coffee Research) やICCRI (Indonesian Coffee and Cocoa Research Institute) と協業し対応策を検討、環境変化に強いコーヒー栽培の開発に取り組む。	IMLVT (国際多地域実証試験) の継続実施。
2. コーヒー生産者の支援	—	協力関係のある生産者にコーヒー苗木の配布や農法を支援し、持続可能な収穫ができるよう支援活動。	●協力関係のある生産者にコーヒー苗木の配布。 ●コーヒー収穫量や品質などコーヒー栽培に関する生産者調査、農法支援。
3. 温室効果ガス排出量の削減	GHG 排出量	2050年カーボンニュートラルを目指し、2030年までにScope1+2排出量を46%削減。(2013年度比)	●2023年度の温室効果ガス削減は、Scope1+2排出量28.5%削減(2013年度比)
	再生可能(非化石)エネルギー導入率	2030年までに再生可能エネルギー導入率50%	●本社ビルと中部工場における使用電力を100%再生可能エネルギー化。 ●再生可能エネルギー導入率 17.2%
環境負荷の低減			
4. 包装容器の見直し	プラスチック使用量	バイオマスプラスチックへの置き換えを推進し、2030年度までに自社製造ナショナルブランド商品のプラスチック使用量を重量換算で20%削減。(2018年度比)	●自社製造NB商品のプラスチック使用量を重量換算9.7%削減(2018年度比)
5. フードロス削減の推進	—	2030年度までに、商品の賞味期限表示については、年月表示を進める。(一部商品を除く) 2030年度までに、品質優位を前提とし、商品の賞味期間延長を進める。	●品質維持を前提とし、各商品群での年月表示の検討を実施。 ●商品3アイテムの賞味期限の延長を実施。
6. 製造過程で生じる廃棄物のリサイクルの推進	食品リサイクル率	製造過程で生じる廃棄物のリサイクルは、99%以上を維持。	●食品リサイクル率 99.6% ●リサイクル先の新規開拓。
責任ある調達と商品の開発・提供			
7. 責任ある購買・調達の推進	—	信頼度No.1、最初に選ばれるコーヒー会社の実現に向け、2025年度中に一次サプライヤーへのサステナブル調達アンケート(SAQ)実施率100%を目指し、当社およびサプライチェーン全体で社会課題に対する改善活動を実施していく。	●一次サプライヤー向け「責任ある購買・調達」の説明会を開催。 ●サプライヤーにSAQを実施するとともに、SAQを通じた改善活動を開始した。
従業員のエンゲージメント向上とダイバーシティの推進			
8. 人的資本経営の推進	エンゲージメントサーベイの実施とスコア向上推進	●2023年度に初回実施および課題把握を行い、翌年度以降も継続的にサーベイを実施する。 ●2025年度までにウェルビーイングプロジェクトチームを中心に複数の改善策を実施し、スコアを向上させる。	●ウェルビーイングチームにてサーベイを実施。課題を把握し改善策を策定・推進。
9. 人財育成の強化	女性管理職比率	2025年度までに6.0%まで向上させる。(※1)	●女性管理職比率 5.3%
	社内資格「キーコーヒー・コーヒースペシャリスト」取得率	継続的な試験の実施と意欲醸成および育成によって、取得率を2022年度の15.7%から向上させ、コーヒーのプロ育成に力を入れていく。(※2)	●「キーコーヒー コーヒースペシャリスト」取得率 17.0%
10. 社内環境整備の推進	有給休暇取得率	2025年度までに60%に向上させる。(※3)	●有給休暇取得率 55.4%
	男性の育休取得率	2025年度までに50%に向上させる。(※4)	●男性の育休取得率 33.3%
	男女の賃金の差異	正規労働者(正社員・嘱託社員)について2030年度までに80%に向上させる。(※5)	●男女の賃金の差異 73.8%
コーポレート・ガバナンスの強化			
11. サステナビリティ推進体制の拡充	—	サステナビリティに関する取り組みを推進するための、適切なガバナンス・リスク管理体制を構築する。	●ガバナンス・リスク管理体制構築のためサステナビリティ委員会を設置。

<温室効果ガス排出量の削減の目標設定は連結目標。それ以外は単体目標。>

※1 計算方法:『女性の管理職(課長以上)の人数÷すべての管理職(課長以上)』、管理職には、執行役員、正社員の管理職および管理職級の嘱託社員を含む。

※2 対象者は正社員。

※3 対象者は正社員・嘱託社員。(一般・定年再雇用)

※4 対象者は正社員・嘱託社員、短期契約社員。(雇用1年以上の見込みを含む)

※5 計算方法:『女性労働者の平均年間賃金÷男性労働者の平均年間賃金×100%』、平均年間賃金は『総賃金÷人員数』、賃金は、基本給、超過労働に対する報酬、役割ごとに支給される手当、住宅手当、賞与等を含み、退職手当、通勤手当等を除く。